

インターハイにおける学校対抗団体戦進行促進のための取り組みについて

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部

現在、全国高体連ではインターハイ改革を目指した取り組みにおいて、暑熱対策、経費節減、働き方改革、インターハイの新たな価値創造などの課題改善をめざしております。

その中にあり、バドミントン競技には競技開催時間の短縮を強く指導されており、早急な対応が求められています。

つきましては、競技の進行を促す取り組みとして、下記の通り学校対抗戦の申し合わせを変更することといたしましたので確認方よろしくお願いいたします。

記

【学校対抗団体戦申し合わせ】

- 空きコートを作らず試合を進める工夫。(団体戦進行に伴う申し合わせの変更)
 - ◆1回戦から2コート展開で試合を進めることもある。
 - ◆長引いている試合は使用コートを増やして(並行試合・・・2コート使用、3コート使用)進めることもある。(現在の申し合わせの条件にとらわれず試合を進める)
(隣のコートだけでなく、縦開き、斜め開きでコートを使用することもある。)
 - ◆2コート以上で試合を進めている場合に使用しないコートができた場合には、使用しないコートに次の試合を入れることもある。(荷物を移動して次の試合を入れる)
(1コートで試合を進めておき、コートが使用できる状態になったら2コート並行で試合を進めることもある)
- マッチ前練習はおこなわない。
対戦チームあいさつの後、2分間のチーム練習を指示されたコートで行う。
- 対抗戦が連続する場合のインターバルは30分とする。(現在からの継続)
- 複と単を兼ねている場合のインターバルは10分とする。(現在からの継続)
- 2, 3コート並行で試合を進めている場合、コートが空いていれば現在の申し合わせ(負けているチームが1ゲームを取るもしくはファイナルゲームになる)にとらわれず10分のインターバル経過後はS2,S3を入れ試合を進めることとする。
 - ◆単2が10分経過しておらず入ることができないが、単3が入ることができる場合は単3を先に始める。